

中野区 見守り活動通信

第14号

「中野区見守り活動通信」は、区と見守りに関する協定を締結している事業者の皆様の情報共有や連携をさらに進めていくために、年に2回発行しています。

今回は、昨年度新たに見守り協定を締結した「株式会社いなげや」の皆様にご協力いただき、日頃の見守り活動についてお伺いしました。

また、事業者様の見守り活動で行政サービス等につながったケースと毎年開催しています「見守り協定事業者懇談会」についてご案内します。



(株)いなげや様に日常の見守り活動をお伺いしました!!



▲移動車に貼付

日常の関わりが見守りにつながる仕組み

中野区内では、株式会社いなげやと提携した「移動スーパーとくし丸いなげや」を運行しています。

同じドライバーが同じ場所・時間に訪問するため利用者との関係が築きやすく、日々の会話や購入量の変化などから体調や生活の変化に気付くことがあります。

こうした日常の関わりが自然な見守りにつながっています。

信頼関係が生む地域の居場所

とくし丸では、常連の方には事前に利用予定を確認し、その方に合わせた商品を用意しています。

こうした積み重ねにより信頼関係が築かれ、利用者は買い物だけでなく、ドライバーや利用者同士での交流を楽しむなど、地域のつながりも生まれています。

皆さんとお話するのも楽しみにしています!!



移動スーパーとくし丸いなげや 21号車
ドライバー サクライさん



移動スーパーとくし丸いなげや 21号車
訪問場所 中野区立丸山塚公園 入口前、個人宅
訪問日時 毎週木曜日 12:15 頃から 30分程度
※個人宅は要相談

地域の「いなげや移動スーパーとくし丸」

買い物にお困りの方はもちろん、地域のどなたでも利用できる移動スーパーです。

民生委員の方をはじめ、地域の皆さまにもぜひ知っていただきたいサービスです。

気になる様子に気づいたら早めの情報共有を

施設内で長時間にわたり一人で会話を続けるなど、気になる様子の方がいたため、後日、すこやか福祉センターへ連絡。



すこやか福祉センターが当時の状況を確認し、精神面での支援が必要な可能性があると判断。その後、本人の状況を把握することが難しく、支援につなげるには至らなかった。



今回の事例を通じて、気になる様子が見られた際には、早い段階で関係機関と情報共有を行うことの重要性を確認した。

ヤクルトや新聞が数日分溜まっている

ヤクルト配達員が、ヤクルトや新聞が数日分溜まっている状況を不審に思い、民生委員に連絡。



連絡を受けた民生委員からの情報をもとに、区民活動センターが地域包括支援センターへ状況確認を依頼したところ、本人は入院中であることが判明し、安否の確認ができた。



その後、関係機関において親族への連絡を行うなど、必要な対応を実施した。

緊急連絡キーホルダーの活用実績について

令和6年1月より、「緊急連絡キーホルダー」の配布を始めました。ひとり暮らしの高齢者などが外出先で万が一の時に、駆け付けた警察・消防が区に問い合わせ、登録したキーホルダーの番号から緊急連絡先やかかりつけ医などの本人の情報（緊急連絡カードの情報）を確認し、救急搬送に役立てます。

■キーホルダー有効配布数※ 4,870 個（令和8年3月31日時点）

※これまで配布した数の合計から区外転出・死亡等の理由により無効となった方の分を除いた数

■活用事例 道端で倒れて救急搬送された高齢者が、緊急連絡キーホルダーを持っていたため、警察から区へ問い合わせがあった。区は登録されていた緊急連絡先とかかりつけ医の情報を警察に提供し、警察はご家族と速やかに連絡を取って、高齢者を引き継ぐことができた。



▲緊急連絡キーホルダー 本人情報の確認は、警察・消防からの照会のみ受け付けます。

今年も見守り協定事業者懇談会を開催します。

今年度も「見守り協定事業者懇談会」を開催します。事業者間、区や関係機関との情報共有等を予定しておりますので、ぜひご出席下さい。

【日時】令和8年11月18日（水）又は19日（木）

午後1時30分～午後3時30分

【場所】中野区役所（中野区中野4丁目11番19号）

